

# 薬用植物園だより

2023年

5月

立てば芍薬、座れば牡丹・・・花と薬の女王

シャクヤク (ボタン科)

*Paeonia lactiflora* Pallas

部位	根
生薬名	芍薬 (シャクヤク) <b>局方収載</b>
成分	ペオニフロリン、ガロタンニン
薬理	鎮痛作用、鎮痙作用、抗炎症作用
薬能	補血薬
漢方	当帰芍薬散、四物湯、芍薬甘草湯



シベリア、中国、モンゴルを原産とする多年草。大輪の花を咲かすために園芸用として庭先で見かけます。有名な「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」にあるように、同属のボタンとよく似ていますが、シャクヤクは草本類 (草) で、ボタンは木本類 (木) です。当園では近くに植栽されているので、実際に見比べてみると違いがわかります。生薬・芍薬は、補血薬として多くの漢方処方に配合される重要な生薬です。また、独特な香りがあります。奈良県は、かつて芍薬の一大産地で、大和芍薬とも呼ばれ高品質でした。現在、栽培の復活が進められています。この栽培品種 (梵天、ボンテン) は白い花です。園芸種も含めて花卉は薬膳として利用され、お酢を少し入れた衣で天ぷらにすると、色鮮やかに揚げるすることができます。

カノコソウ (オミナエシ科)

蕾が、染めの技法「鹿の子絞」に似ている？

*Valeriana fauriei* Briq.

部位	根および根茎
生薬名	吉草根 (カノコソウ) <b>局方収載</b>
成分	ボルニルイソ吉草酸などの精油、イリドイド
薬理	鎮静作用、鎮痙作用
用途	鎮静薬、婦人用薬に配合
漢方	使用されない



北海道、本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布する多年草。山地や草地の湿った涼しい場所で見られます。株分けで繁殖し、よく増えかわいい花をたくさんつけています。しかし、近年では野生状態のものを見るのはまれで、絶滅危惧種に指定されています。この生薬は、ヨーロッパで鎮静、利尿薬として用いられていた「ワレリアナ根」の類似生薬とし局方に収載されました。北海道の名寄などで栽培されており、みなさんがよく知っている「命の母A」にも使用されています。また、この生薬は、独特な臭気 (1日履いた靴下の様なにおい) があり、学生実習の鑑定試験でその強烈な香りに驚いたのも良い思い出です。



カノコソウ

温室

テニスコート

薬用植物園

シャクヤク



ホームページでも  
ご覧いただけます